



工房信州の家

展示場案内

MODEL HOUSE GUIDE



工房信州の家 展示場案内

CONTENTS

長野中央展示場	04
長野古牧展示場	08
上田展示場	12
松本展示場	14
松本南展示場	16
諏訪展示場	20
伊那展示場	22
展示場の歩み	24
展示場の楽しみ方	26

工房
信州

CONCEPT

信州の木の家へ帰ろう

日本の風土には、木の家がいちばんふさわしく、
森に恵まれた信州では、身近な木で家をつくるのが叶います。
そして身近な木を使いながら森を守り育てていけば、きっと
この自然を子や孫の世代へ豊かなまま伝えていけそうです。
工房信州の家は、住宅業界がこぞって輸入木材頼みだった時代から、
長野県産材に特化した家づくりを始めました。
お客様自ら森に入り、大黒柱を選ぶ取り組みもしています。

わが家も信州らしい景観のひとつでありたい。
森にいるような清々しい空気を感じながら住みたい。
四季の移ろいへの感受性を大切にしたい。
家づくりとその後の暮らしが素敵な物語になればいい。
信州の風景にも人にもなじんで、信州の森ともいい関係にある
そんな家づくりを私たちはしています。





NAGANO CENTRAL

長野中央

展示場



信州らしい伸びやかな暮らしを
すっきりスマートに

自然が豊かで四季の変化がはっきりした信州で暮らすことは、
さまざまな喜びを毎日にもたらしてくれます。
ただその楽しみ方は、田舎で過ごすのと都市部のそれと違っていいと思います。
街の景観に溶け込むようにスマートでありながら、
自然とともにある豊かさ、伸びやかさを暮らしのなかで味わえる
都市に似合う信州の住まいです。





自然への感性が豊かになる 土間サロンの仕掛け

大きな開口をもつ土間サロンは、
屋内と屋外をつなぐ役割を果たします。
暮らしの場所が外の自然と近くって、
木々の葉の色の移り、山野草の可憐な花、小鳥や虫たちの訪れ、
そんな小さな変化にも気付くことができる日々が、
愛おしくなります。

コーナーに三畳分の琉球畳を敷いた、垢抜けていてしかもくつろげる土間サロン。外との密なつながりを愉しむため、二面に設けた大きな木製サッシは壁側にすべて引き込めるようサッシメーカーと打合せを重ねた労作。季節の彩りを拝借して飾り棚の一輪挿しにそと野の花を生ける、情緒豊かな暮らしへと誘う。



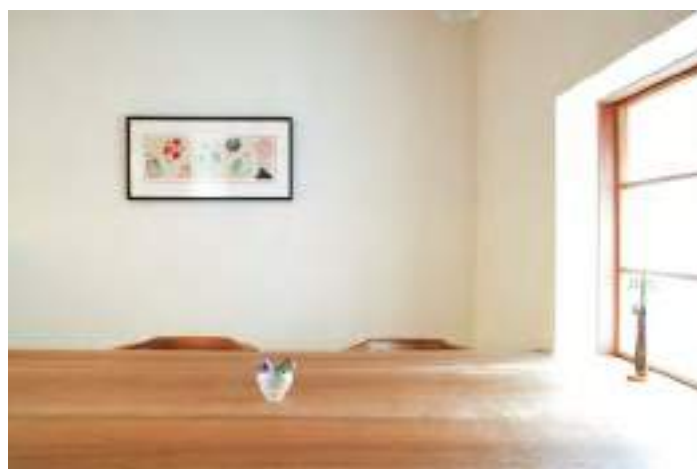
外壁は21mm厚のカラマツ材の深溝張り。凸凹の板を交互に張り合わせることで無垢材特有の反り返りを防ぎ、深溝の陰影で外観に豊かな表情を生む。浸透性の自然塗料で木の質感を活かし、明るいグレーカラーが都市の景観になじむスマートな外観。



自然素材がもつ優しさのなかで 子どもを育てる

まるで森のなかにいるみたい
思わず深呼吸したくなるのは、
長野県産の木材をはじめ、自然素材を使っているから。
ほかにも、工房信州の家がこだわる
エアバスマーラー工法や広がり間取りのおかげで、
家の中にいつも清々しい空気を感じます。
家族の健やかな成長は、
信州のこんな家でならきっと叶いそうです。

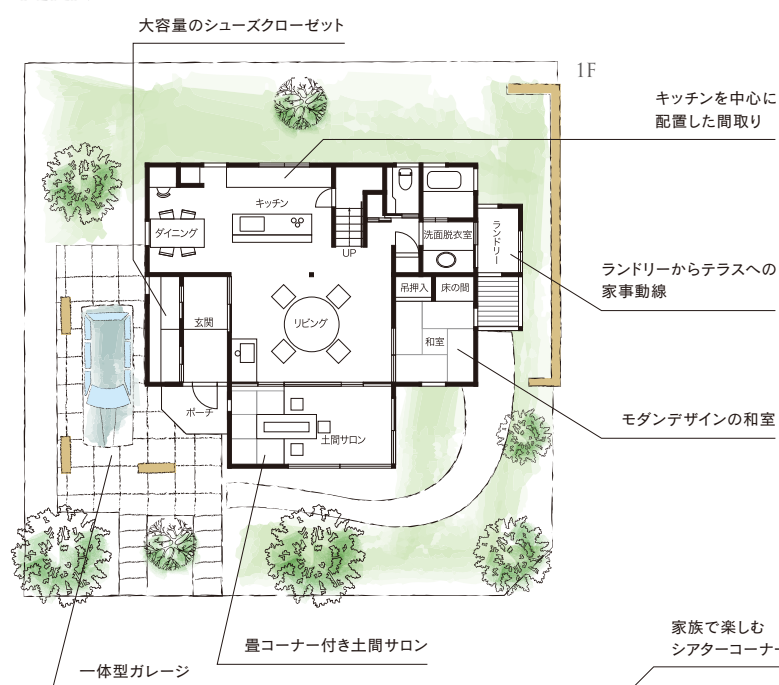
キッチン背面収納は木曾の木工職人の手によるもの。ホノキは辺材・心材の境界がくっきりと明確で表情豊か。オープンキッチンに相応しいインテリア性を備える。モダンな和室は「シンプルに、お洒落に」がテーマ。漆塗りの床の間と、淡いグレーで統一した建具と畳の緑がスタイリッシュな印象。



二階の共有スペースは、工房信州の家の特徴のひとつ。個室からあまいな家族空間へとゆるやかに進化させる、工夫のプランニング。この家の共有スペースは、家族のシアターコーナーに。トチの木の本棚は、引き出し式の収納も兼ねる。二階の床材はカラマツ、一階床のアカマツとの表情の違いを見比べるのも楽しい。

長野中央展示場

PLAN



DATA

延床面積 — 155.82㎡ (47.13坪)
1F面積 — 97.83㎡ (29.59坪)
2F面積 — 58.07㎡ (17.57坪)

CONCEPT

まだ知名度のない長野市で、工房信州の家づくりを端的に知っていただくため、ベーシックな間取り、素材を基本としたプランニング。そして都市部においてこそ信州らしい豊かな自然を感じる毎日であるように、庭を15種以上の樹木や山野草で小さな雑木林のようにあしらひ、屋外の自然を内側へ取り込む土間サロンの最大限に活かしました。

所在地/長野市西尾張部1030-2
SBC長野中央ハウジングパーク内
定休日/火・水
営業時間/10:00~18:00



カーナビ施設検索
(SBC長野中央ハウジングパーク)





NAGANO KOMAKI

長野古牧

展示場



週末は友人を呼んで
料理と食事と会話を楽しむ

風や光や木々に季節の小さな変化を見つけた週末には、
気のおけない友人をわが家に招き、
旬の食材を使って一緒に料理をして、
賑やかな会話で食事を彩りたい。
思わず人を呼びたくなる、気づくと人が集まってくる、
オープンスペースたっぷりの住まいです。





外のテラスへフルオープンにつながる土間サロン、ダイニングとの床レベルの差も小さく、信州の自然を間近に感じる一体感ある大空間になっている。仕切りの障子は、組子の両面に障子紙を太鼓張り。うっすらと浮かび上がる棧の影が美しい。空気層ができることで断熱性能も高まる。



ダイニングも土間サロンも キッチンもパーティーゾーン

工房信州の家が提案する“広がり間取り”をいっぱい広げ、土間サロンからダイニング、キッチンまでをオープンに。ホストとゲストの垣根なくパーティーを楽しめます。一方、最奥のリビングはひと味違う落ち着いた演出しました。屋外からだんだんつながる空間で、めいめい自分に合った時間の過ごし方を見つけてください。



奥のリビングでは、ソファに腰掛けると仕切り腰壁のおかげでダイニング側と視線が合わずゆったり過ごせる。信州カラマツを目透かし張りしたアクセントウォールに囲まれて、落ち着いた雰囲気。



ダイニングと隔たりのないキッチン。ゲストも交えて一緒に料理をして、そのままここで乾杯というのもいい。キッチン背面は、薪ストーブと同じ織部焼のタイルで、北欧家具にもよく似合う上品な素材感。その後ろにはワークスルールのパントリーも。

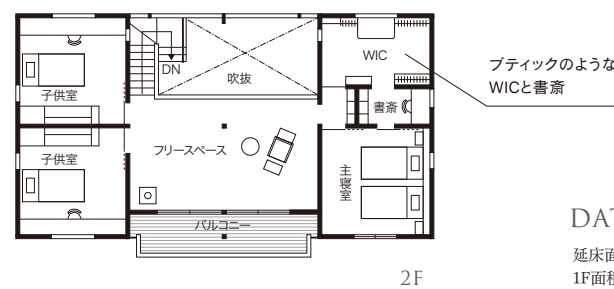
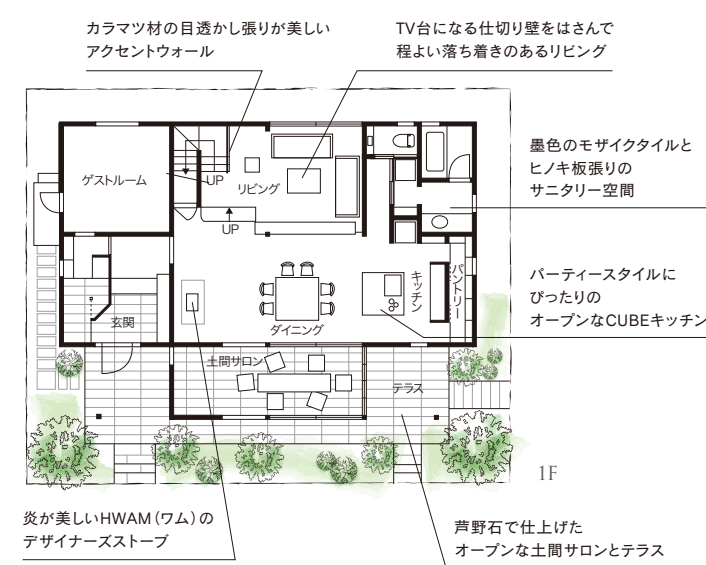


外観の落ち着いた深い色合いと、緩やかな切妻屋根、懐の深い軒の出が、信州の風景によく馴染む。シンプルでありながら、住む人の実り多き人生を思わせる佇まい。テラスは土間サロンをぐるりと囲むように広い、外の緑をよりダイレクトに感じることも、また憩いの場のひとつになる。



長野古牧展示場

PLAN



DATA

延床面積 — 193.79㎡ (58.62坪)
1F面積 — 114.65㎡ (34.68坪)
2F面積 — 79.14㎡ (23.94坪)

CONCEPT

シンプルな豊かさを追求した、人を呼びたくなる家。余計なものが見えないため目に入るものが心地いいシンプルさと、木の素材が持つあたたかみを感じるフィジカルな豊かさを両立しています。また、土間サロンからダイニング、キッチンまでオープンな空間とし、ゲストとホストの垣根を取り払うことで、人が集い、みんなで料理をつくり、食事を楽しみ、片付けも一緒にする、これからのホームパーティーの形を提案しています。

所在地/長野市大字高田五分一沖668-1
長野古牧住宅公園内
定休日/火・水
営業時間/10:00~18:00



カーナビ施設検索
「古牧住宅公園」



主寝室や子供室は、斜天井の間接照明に照らされた杉の框目が美しい。主寝室から続く書斎とクローゼットは麻布漆喰の床で上質な空間。コーディネートテーブルを設けて、プティックのように服選びを楽しむ。2階オープンスペースの前には、奥行きのあるバルコニーを設けた。アイアン手すりアクセントに。



活力ある毎日のためにも プライベートな時間の充実を

2階は家族だけの聖域です。奥行きのあるバルコニー付のフリースペースや、桎目材や珪藻土の素材感が美しい個室で、自分たちだけに流れる時間を感じてください。週末をアクティブに過ごすためにも、プライベートな時間の豊かさを大切にしたいものです。



UEDA

上田 展示場



デザインも空間も軽やかで上質な

二世帯住宅の新しいモデル

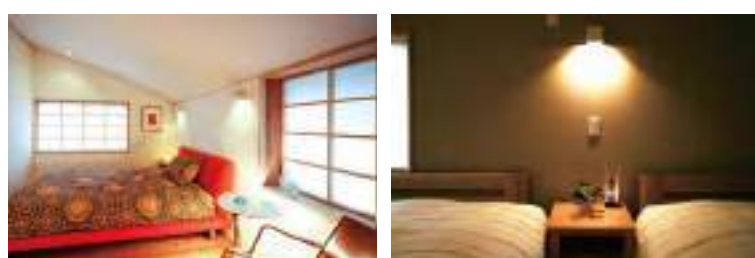
「家に入る」とか「後を継ぐ」というより、
もっとフランクに家族の絆を大切にしたいから、
一緒に暮らそうと考える親子世代の要望に応えました。
無垢材や自然素材を使っているのに垢抜けていて、
二世帯双方に好まれるデザインと空間。
リビングを2つ設けたこともポイントです。

家族と街や人、自然との コミュニケーションが豊かになる

土間サロンは、その家と家族が
外に向けて開く窓のようなもの。
そこから、まぶしい緑を渡った風が入り、
昔の家の縁側みたいに、
回覧板を届けに来たご近所さんとの会話が弾み、
そして、ランドセルに今日一日分の嬉しさも詰めて
子どもたちが帰ってきます。



つくりつけベンチに深く懸掛け、大理石の炉台に据えた北欧デンマークデザインの新ストーブHWAM(ワム)の優雅な炎を楽しむ、という時間を満喫するための「火のサロン」。家族のくつろぎの時間はもちろん、玄関脇に位置し応接スペースとしても重宝。吹抜けに浮かぶ踊り場書院は、憧れの書斎を個室として独立させるのではなく、家族空間にあいまいにつながる仕掛け。一階も二階も一望できる、この家の特等席。

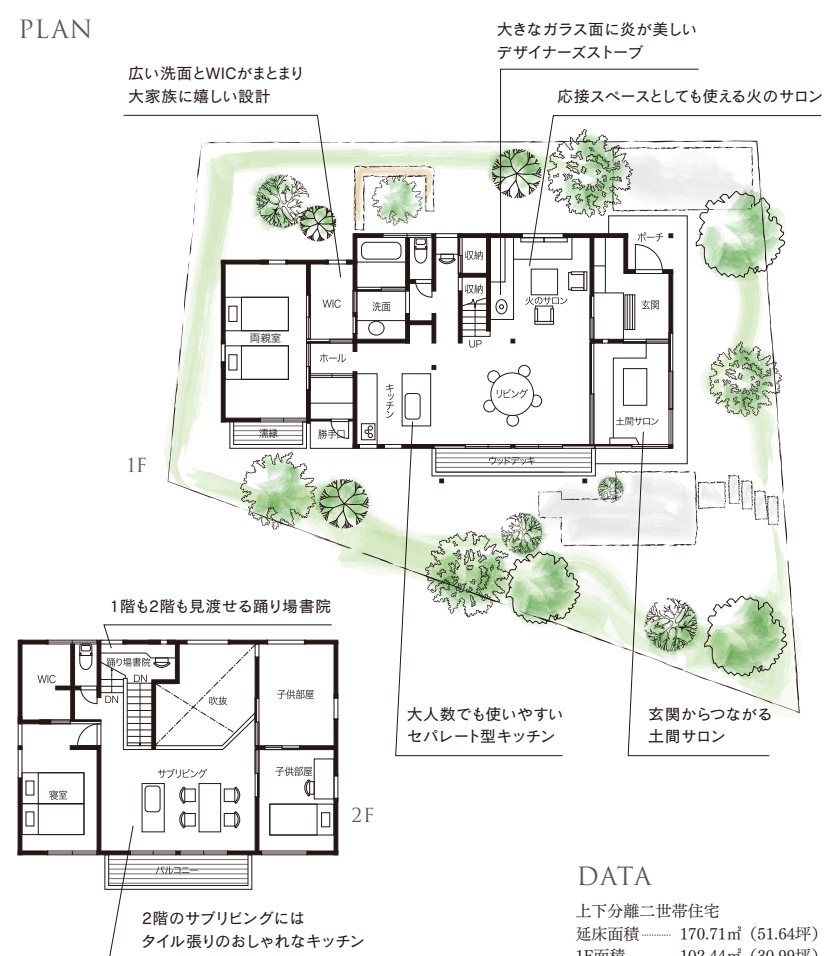


天井高を抑えた、落ち着きあるベッドルーム。家全体に障子を多用し、建具の美しさも見どころ。余分なものを一切見せない高い意匠性にこだわった設計で、窓の納まりだけで図面は9枚にも及んだ。窓枠の縁も、戸袋も、その存在を感じさせないすっきりとした空間デザインで、窓を開けても閉めても変わらず美しい。



上田展示場

PLAN



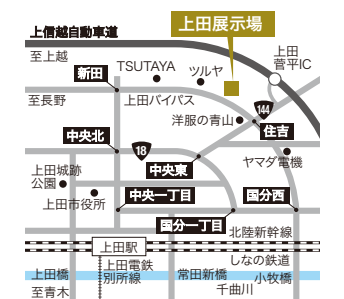
CONCEPT

北側が正面の顔になるのは、この展示場だけ。のっぺりとした外観にならないよう窓を贅沢に配置し、写り込む障子の影まで美しく映えるよう計算されたファサード。軽やかな佇まいとするために、通常は一枚の幕板を三枚重ねて細く見える視覚効果を狙い、軒裏天井と外壁の間は目隠しで納めました。

所在地/上田市上田蛇沢1360-1
SBC上田ハウジングパーク内
定休日/火・水 ※土日祝以外のご見学は要予約
営業時間/10:00~18:00



カーナビ施設検索
[SBC上田ハウジングパーク]





MATSUMOTO

松本 展示場

3つの土間サロンが、
信州の豊かな暮らしを彩る

家族や趣味のあう友人たちと気兼ねなく過ごす時間や、
自分だけの楽しみに没頭できる心地よい時間。
南・東・北に設けた3つの土間サロンが、そんな豊かな“トキ”を演出してくれます。
広がり、つながり、おおらかに。気持ちいい場所をみつけたら、
ただそこにいることを心ゆくまでお楽しみください。

自然とともに暮らし、羽ばたく
信州に住む醍醐味を味わおう

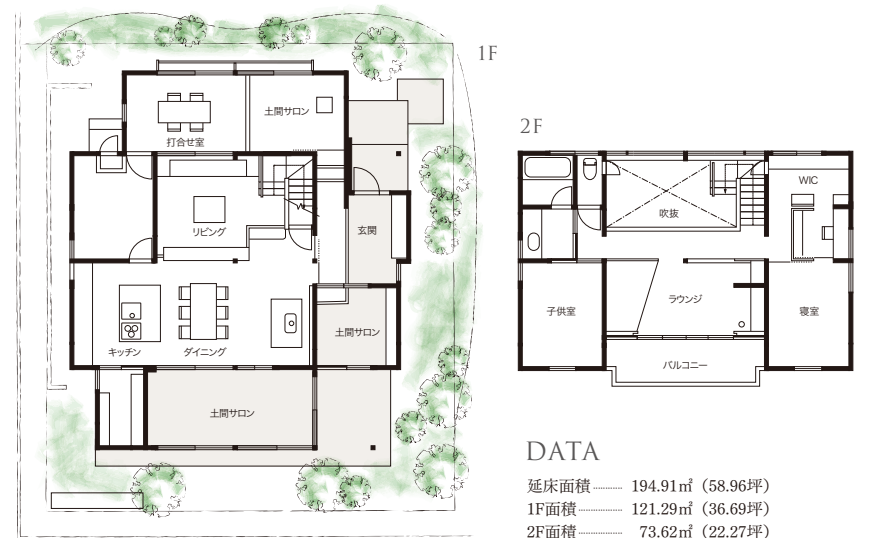


内側からは、カラマツの小幅板の天井が土間サロンまで続き、外側からは、外壁の杉板やテラス床の白河石が緩やかに中までつながる。内と外のりしろが重なることで、あまいで心地よい空間に仕上がった。



松本展示場

PLAN



所在地／松本市東1-1-7
松本住宅公園内
定休日／火・水
営業時間／10:00～18:00



カーナビ施設検索
「松本住宅公園」





MATSUMOTO MINAMI

松本南

展示場



2つの土間サロンのある家

工房信州の家が、長年にわたり提唱し続けてきた「土間サロン」。

その進化形として極めたのが、ここ松本南展示場です。

まさにサロンの名にふさわしく、人の集まりを促す社交的な場でありながら、

2つの土間と2つのキッチンを設置することで

内外が繋がり、人と自然が交歓する多彩なシーンが生まれます。





土間サロンを中心に 人が集い、「座」が生まれる

サブキッチンと薪ストーブのある広い土間サロンは、
小さな音楽会を催したり、
ギャラリーやカフェのようにも楽しめる集いの場。
そしてダイニングテーブル横の小さなぐり戸を抜けると
もう一つ、小さな土間が現れます。
こちらも直接外とつながっているから
アウトドアギアを置いたりして趣味に没頭するのも楽しそう。
何に使おうか夢が膨らむ空間です。

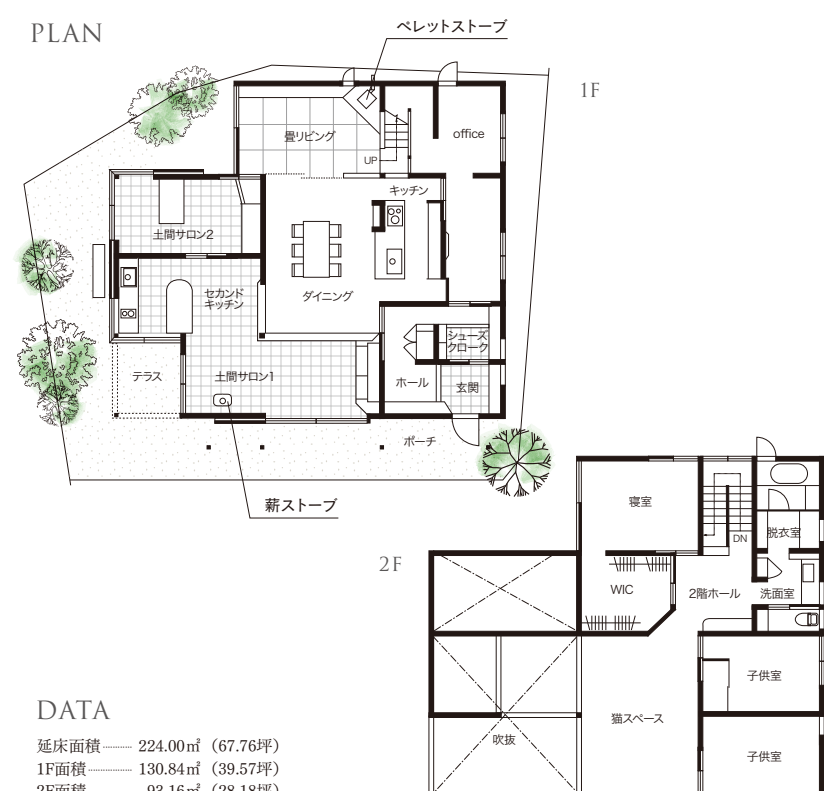


格子戸で仕切られたダイニングの奥は、ベレットストーブのあるリビングになっている。



松本南展示場

PLAN



DATA

延床面積 — 224.00㎡ (67.76坪)
1F面積 — 130.84㎡ (39.57坪)
2F面積 — 93.16㎡ (28.18坪)

所在地/松本市村井町北1丁目2-15
松本南住宅公園内
定休日/火・水
営業時間/10:00~18:00



カーナビ施設検索
「松本南住宅公園」



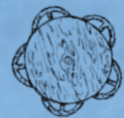
プライベート感を大切にした つながる、広がる空間

個を大切にしながらも程よいつながり感がある2階。
木の温もりと質感、木目の美しさが際立つ落ち着いた空間は、
心に深い安らぎをもたらします。
天然木の床や天井、柱などはもちろん、オリジナルの造作家具たちも、
何気ない日常を色鮮やかに彩ります。



愛猫のための空間

2階は寝室や子供室、サニタリーなどを配したプライベートスペース。キャットウォークや家具など、愛猫がストレスなく暮らせる工夫があちこちに見られる。



SUWA

諏訪 展示場

季節を遊ぶ家

「はじめに遊びありき」

人間は遊ぶ存在であり、人類の文化は遊びから生まれたと言った人がいます。

日本にも「遊びをせんとや生まれけむ」という歌の文句がありました。

「はじめに遊びありき」。遊びが人生を充実させます。

諏訪展示場では、土間サロンと吹き抜けのリビングが一体となった

大きな空間をつくりました。普段暮らしには持て余しそうですか？

でも、土間サロンのある南側のみならず北側も大開口にして

信州の自然を存分に取り込み、まるで「四季のやどり」と化したこの大いなる余白こそ、

あなたが遊びに没頭するためのしつらえなのです。



勇壮な梁のモダンリビング

北側には中庭を設け、空からも光と風がたっぷり届くようにした。家全体が大きな縁側のように信州の四季を宿し、冬は薪ストーブ1台で家中快適。



人生を耕すには、ときに一人になれる場所も必要。一人の時間も自分を満たしてくれるものだから。中庭のデッキや書斎も、あなたが夢中にも無心にもなれる居場所。

外までつながる土間サロンで、
互いを感じながら好きなことを



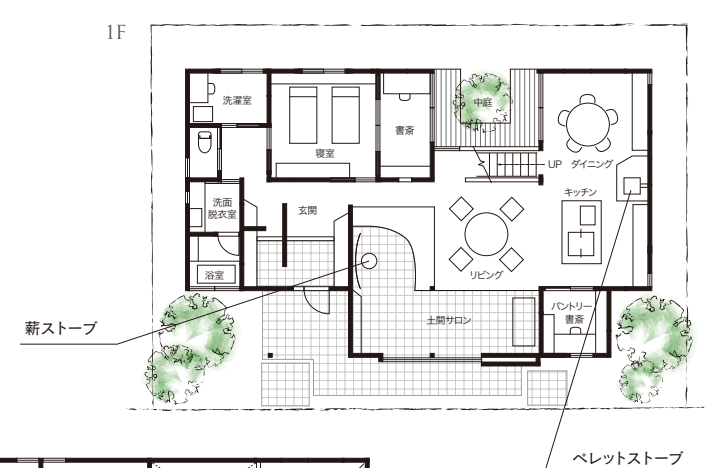
アイランドキッチンは、どの方向からも作業しやすく、家族や友人とお料理で会話も弾む。食卓を囲む前にキッチンを開くことで、普段の食事もゲストを招いてのパーティーも盛り上がるはず。



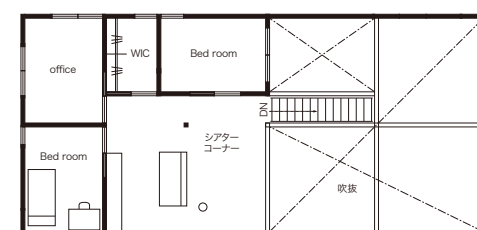
諏訪展示場

PLAN

1F



2F



DATA

延床面積 — 187.39㎡ (56.68坪)
1F面積 — 123.76㎡ (37.43坪)
2F面積 — 63.63㎡ (19.24坪)

所在地/諏訪市四賀赤沼1640
諏訪住宅公園内
定休日/火・水
営業時間/10:00~18:00



カーナビ施設検索
「諏訪住宅公園」





伊那 展示場

木組みの経年美を味わう
「心解き放つ住まい」

ゆるやかな傾斜の大屋根に、家族が守られているような安心を感じる住まい。

室内に入れば、木組みの美しさに惹きつけられます。

その風格は、本物の材を使った民家だから出せるものです。

一方、機能面では現代の住み心地にも気遣い、

また縁側代わりの土間サロンを設けるなど、

信州らしい風景によく似合う和モダン二世帯住宅です。

人生の折り目節目を気にかけて
暮らす家族のために

どんなに時代が移っても、

季節を感じる心や

人生の折り目節目を大事に過ごしたいものです。

たとえば和室は、ハレの空間であることを意識して、

板の間のリビングより一段高くしました。

雪見障子越しの庭の眺めは、折節のどんな物語で

お客様をおもてなすことでしょう。



現しの太鼓梁と和紙張りの天井に間接照明が映える、
品格の高い10畳の和室。

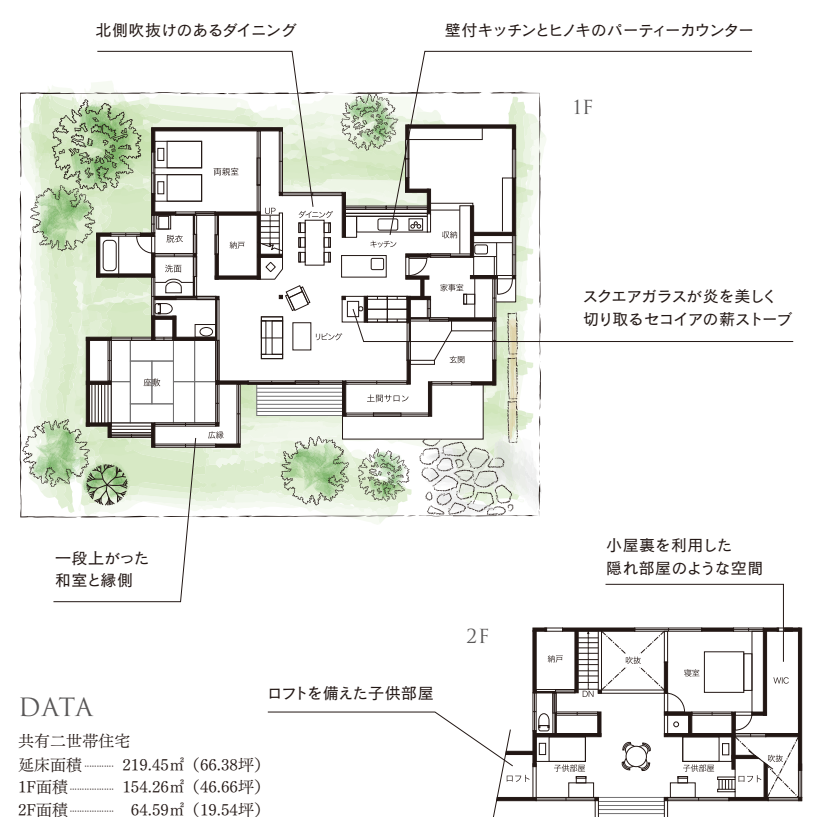


手掘りの大きな太鼓梁は、旧長谷村(伊那市)の山から伐り出した樹齢300年のコメツガで、今や入手不可能な貴重な材。床と天井にはカマツを用い、柔らかな材で足触りが心地良く、築23年を経てぐっと色味を濃くした風合いが和の空間の趣を一層深めている。しっとりとした質感の漆喰壁とも抜群の相性。外観は一字瓦の大屋根で、軒先の美しいラインが印象的な佇まい。



伊那展示場

PLAN



CONCEPT

自然と共生する古来からの建築の思想に学び、信州の家づくりの原点を見つめた家。その土地その風土に合った木の使い、家のつくり方、住まい方とは何か。先人の知恵を拝借し、現代の暮らしに合わせて再構築することで、信州に住まう喜びに満ちた「心解き放つ住まい」になる。日本建築の第一人者である古田桂二氏に学びながら、信州らしい家づくりの第一歩を踏み出した、工房信州の家の原点となる一棟です。

所在地/伊那市下新田3044-1
 伊那ハウジングセンター内
 定休日/火・水 ※土日祝以外のご見学は要予約
 営業時間/10:00~18:00



カーナビ施設検索
 「伊那ハウジングセンター」



工房信州の家 展示場の歩み

信州の木の家をより多くの方に感じていただくこと、
私たちは県内各地にさまざまなタイプのモデルハウスをご用意して、
世代や家族構成ごとに住まい方を提案しています。
信州の自然を感じながら、
心豊かに暮らすことをキーコンセプトにしながら、
私たちの家づくりがどんなふうに進化してきたのか
振り返ってみます。



工房信州の家の原点

輸入材全盛の時代で、無垢材ですら主流でなかった当時、「信州の家は信州の木で」という常識外れの方針を掲げて設計しました。ヒノキ信仰はあったものの、「カラマツなんてねじれて建材にならない。人工林の木は土木用」というのが業界の常識。他社メーカーからこき下ろされるなか、満を持して住宅公園に竣工。ここから「県産材モニター募集」を謳い、地域材の家づくりの魅力を少しずつ訴求していきました。

伊那展示場

2000

工房信州の家の歩み

2003年
・信州の家は信州の木で
工房信州の家づくりグループ発足
「信州木づくりの家」として県より認定
(県産材使用率60%)

2004年
・自分の山の木で家づくり1棟目

2005年
・匠の会発足
(現在125社)

2007年
・長野県ふるさとの森づくり賞
県知事賞
・天然乾燥ストックヤード建設
(県産材使用率70%)

2008年
・「四季」モデルハウス(松本市和田)
オープン
・県産材使用率80%に

2009年
・諏訪沖田モデルハウスオープン
・薪ストックヤード開設、薪販売開始

2010年
・ふるさと信州・環の住まい
(長野県版長期優良住宅)に全棟適合
・断熱等性能等級4に全棟適合

2011年
・設計デザインコード制定

2012年
・選木ツアー、
ひとてま工房開始

社会背景

2005年 耐震偽装問題

2008年 リーマンショック

2011年 東日本大震災

分譲地の歩み

南アルプスと中央アルプスを望む高台に25区画の分譲を開始しました。コンセプトは「自然環境共生の街づくり」。信州の風土に合った街並みで、家族で四季を感じ、齢を重ねることに育つ街づくりを目指しました。統一感ある美しい街並み形成のために、独自で「建築協定」を制定。行政でもまだ景観条例など無い時代で、民間では長野県で初めての制定であり、行政から「こんなに厳しい縛りで大丈夫ですか」と心配されたほどでした。



モデルハウスの歩み

2003年、2008年、2015年と、分譲地内に三棟のモデルハウスを設けました。今や工房信州の家の代名詞ともいえる「土間サロン」を始めて謳ったのも、南原モデルハウスでのこと。いずれも総二階建てのシンプルな架構のグリッドプランを基本とし、ゾーニングの工夫によってどんな敷地条件やライフスタイルにも対応可能な柔軟性のある家で、多くのお客様がSEASONのモデルハウスをベースとした家づくりをされました。



SEASON南原 (25区画の分譲地)



県都・長野市への挑戦

この展示場ができた2009年、長野市近郊では「木の家」と呼べる家づくりを積極的に行う住宅会社はまだありませんでした。信州の住文化の創造を大きなテーマとして掲げる私たちは、信州最大の都市・長野市の多くの方々に、この家の真価を問いたいと考えました。奇しくも、時はリーマンショック後の混乱の只中。住宅公園からメーカーが次々と撤退するなか、知名度に勝る大手メーカーを相手に、信州に特化した家づくりで真向勝負を挑む大きな挑戦でした。洋風スタイルの外観が多い住宅公園のなかで、外構も含め天然素材を前面に出した家は、庭木とのバランスもよくとても映えました。



長野中央展示場



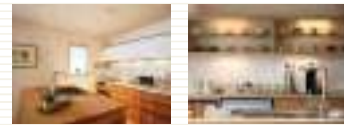
旧 松本展示場
[2022年4月閉館]

2009

2010

上田展示場

2012



住むから創るへ

土間サロンのある暮らしの提案を始めて20年。
以来、工房信州の家の大きな特徴として進化し続けたその空間が、
今までより大きく、自由に、その使い方の夢を広げます。
「住む」や「暮らす」を超えたもっと大きな営みの舞台として。
そう、土間サロンは生き方なのかもしれません。



松本南展示場

人と人のつながりの これからの形

先の平成時代は大きな自然災害が多くあり、日頃の絆の大切さが確認されました。また昨今は共感をキースとするSNSが人気です。そうしたなか、いま人と人とのつながりの新しい形がつけられつつあるようです。例えば、ゆるいけれど深いつながり、一緒にいるのが楽しいだけでなく、互いに自分の価値を高め合うようなつながりを、私たちは求めています。ホームパーティーも、ホストとゲストという従来の垣根をつくらず、時間や体験を共有し、新しい価値を共につくっていくのがこれからのスタイルだと考えます。古牧展示場は、「人を呼びたくなる家」の新しい形です。



松本展示場



諏訪展示場

ライフスタイルの 新しい提案



「毎日がグランピング」をテーマに、我が家に居ながらアウトドアを満喫するライフスタイルを目指し、社内コンペ形式で基本設計を決定した展示場です。特定の建築家の先生の力に頼らず、スタッフ全員のノウハウや知識を注いだ空間は、他のどの展示場にも似ていない新鮮味のある一棟に。信州ライフの豊かさを加速させるのは外へと開くプランニングであるという路線を明確に打ち出した、2016年時点での工房信州の家の到達点です。

長野若里モデルハウス



長野古牧展示場



土間に暮らす、という 新提案



長野南展示場
[2019年5月閉館]

2013

2014

2016

2019

2022

2023

2013年
・長期優良住宅 全棟適合
・耐震等級3に全棟適合(最高等級)
・グッドデザイン賞「信州を楽しむ住まい 土間サロン」

2014年
・グッドデザイン賞「あなたが選ぶ山の木で家づくり」
「街まるごとリフレッシュデー」

2015年
・二つの住宅性能評価を全棟標準採用
・大工職採用開始
・グッドデザイン賞「信州の家は信州の木で 工房信州の家づくりグループ」

2016年
・日本サービス大賞 地方創生大臣賞
「家づくりを物語に」
・グッドデザイン賞「薪ストックヤード」
・アーバンアウトドア Any+Forestオープン

2017年
・グッドデザイン賞「若里の家」

2019年
・グッドデザイン賞
「毎日が土間パ「古牧の家」」
2018年
・グッドデザイン賞「自分の山の木で家づくり」

2020年
・日経ニューオフィス推進賞
「フォレストコーポレーション本社」

2021年
・信州コンシェルジュ活動開始

2014年 消費税8%

2017年 熊本地震

2019年 消費税10%

2020年 新型コロナウイルス

工房信州の家 展示場の楽しみ方

POINT 1

素足で床の質感を確かめよう

春夏秋冬、展示場ではスリッパをお出ししていません。さらに、靴下を脱いで、素足で歩くことをお勧めしています。無垢の床のやわらかな肌触りを体感してください。



POINT 2

森の中のような空気感を楽しもう

「この空気感はどこからくるの?」と言われる。「森林浴しているみたい」とも言われます。その秘訣は、自然素材と木とエアバスソーラー工法の組み合わせ。思いきり深呼吸してみましょう。



POINT 3

広がりを感じよう

各部屋を孤立させず心地よいつながりをもたせ、土間サロンを中心にソトとウチへ伸びやかに広がってゆく空間が特徴です。床面積以上の広さと、信州の自然とつながる開放感を味わってください。



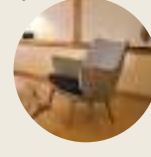
POINT 4

座ってくつろいでみよう

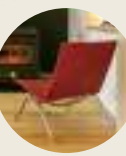
展示場ごとに、おすすめのくつろぎスポットがあります。ひとつの展示場で、3ヶ所は座ってみてください。同じ土間サロンでも、それぞれの趣に気づくことでしょう。憧れの北欧チェアも堪能できます。



IL-02
イブ・コフォード・ラーセン
(長野中央展示場)



PK22
ポール・ケアホルム
(松本展示場)

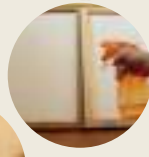


ミニベアチェア
ハンス・J・ウエグナー
(伊那展示場)

POINT 5

実験で確かめよう

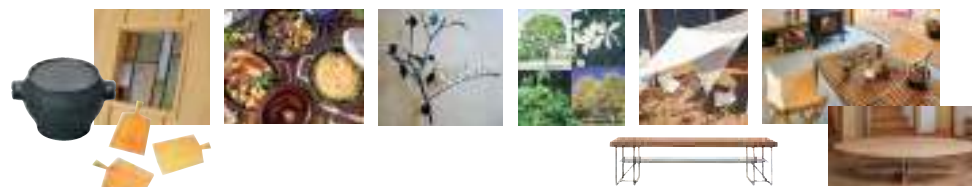
家づくりの素材を用いたさまざまな実験をご用意しています。冷蔵庫で冷やした無垢材と集成材の違いとは?塗り壁とクロス壁に響きをかけるとうなる?ご自身で見て触って自然素材の効果をお確かめください。



PRESENT

展示場に行くほど楽しみ広がる「Forestマイレージ」

長野県内各所の展示場へご来場いただいたお客様へ、50～4000ポイントを進呈。暮らしを彩るアイテムからテーブルなどの家具まで、多彩なプレゼントと交換できます。



※商品は一例です。詳しくは当社スタッフまでお問い合わせください。※プレゼント交換は本契約後となります。

Any+Forest

グランピングで毎日の暮らしを楽しく――



工房信州の家 × snow peak

アウトドアブランド「snow peak」と提携し、アーバンアウトドアショップ「Any+Forest」を若里モデルハウスに併設しました。

snow peakは、新潟県燕三条の優れた職人技術に裏打ちされた、ラグジュアリーでハイエンドなキャンプギアづくりで知られ、国内外のキャンパーやアウトドアファンから圧倒的な支持を得ています。若里モデルハウスのコンセプト「あそぶように暮らすグランピングの家」には、同社のスローガン「人生に、野遊びを。」への共感も込めました。

ショップでは、snow peak製品とモデルハウスの両方をご覧いただきながら、心と体を野に遊ばせるように、アウトドアグッズを普段使いで楽しむライフスタイルを体験できます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。




Access Map



長野市若里三丁目21-14(ビッグハット北隣・長野若里モデルハウス併設)
●営業 不定休(ご予約が確定です) ●営業時間/11:00～17:00



 株式会社
フォレストコーポレーション

本社	〒396-0027 伊藤市さすみ・丘7353-1	TEL:0265-73-8133
長野支店	〒381-0032 長野市若宮2丁目13-3	TEL:026-254-5383
松本支店	〒390-0852 松本市島立940-1	TEL:0263-40-5002
諏訪支店	〒391-0001 茅野市木の2767-2	TEL:0266-78-0881
上田営業所	〒386-0001 上田市上田蛇沢1360-1	TEL:0268-75-0651
軽井沢支店	〒389-0111 北佐久郡軽井沢町大学長倉南1-647-4	TEL:0267-46-8646

工務情報

